

令和 5(2023)年 4 月 1 日

## 令和 5 (2023) 年度入学式

### 学長式辞

神田外語大学外国語学部、グローバル・リベラルアーツ学部、及び大学院言語科学研究科に入学した皆さん、誠におめでとうございます。ご家族や関係者の皆様に心よりお喜び申し上げます。

突然ですが、皆さん、「ChatGPT」をご存じですか。どんな質問に対しても嫌な顔をせずにご答えてくれるチャットボットです。はじめはどこかぎこちなかった日本語表現は、AI の学習により日々 向上し、文体がこなれてきました。

「ChatGPT」に代表される Generative AI、すなわち生成 AI は、従来の顔認証や需要予測などに使われる認識系 AI や分析・予測系 AI とは区別され、AI 自身がこれまで学習した膨大なデータを もとに、人間の指示に従って新しい画像、音楽、文章などを瞬時に作り上げるのです。この AI は、百科事典の代わりに知識を素早く提供してくれるだけではなく、皆さんとの対話を通じて学習し続けるので、議論のパートナーにもなり新たな着想や発見のヒントもくれます。売れる 小説を作り、それをミュージカルにしようと思えば、AI に、過去のデータを分析した上で人気が出そうな台本、配役のアイデアを出させ、演技指導までさせることができる時代が来るでしょう。レポートや宿題の手伝いをさせれば、世界中の百科事典や辞書のページを瞬時に調べて要点だけを取り出して整理して教えてくれるのでとても便利です。

しかしながら、AI に依存しすぎると、分からないことについて予想を立てて検証したり真偽を確かめたりする機会が極端に減ることは容易に想像できます。私たちは、もはやスマホなしでは生活できないでしょうが、電力供給が止まったら機械は動きませんし、サイバーテロでネットが 破壊された世界を想像してみてください。まずは自分で、自分の頭で考えないと、我々の思考力は低下します。AI を使ったマインドコントロールや世論操作に、気付くことなく飲み込まれてしまう危うさが潜んでいます。そんな時代をたくましく生き抜く力が、Critical

Thinking 力です。自分自身を見失わないようにするには、自分の頭を痺れるまで使い、考え抜き、議論をし、疑って、論理的にモノゴトを考え、自分自身のことを客観的に捉えることです。

どうすれば正しく批判的に考える力を身につけられるのでしょうか？私は、これから皆さんが取り組む外国語学習こそが、自分の頭で考えて生き抜く力をつけるための「素敵な入口」であると 考えています。

自動翻訳機の性能も日々進化する今、私は母語以外の言葉を学ぶ、という行為そのものがますます大切になると思います。外国語を深く学び、母語と比較しながら、多様な文化的背景や考え方を理解しようとすることは、皆さんの思索をより深くし、感性を豊かにするのです。外国語の学習は、深い思考力を身に着ける訓練でもあり、進化を続ける AI にコントロールされることなく、人間がAIを活用し共存していくために必要とされる術(すべ)になると考えています。

また、この「素敵な入口」をくぐり始めるともう一つ良いことがあります。日々発見の連続で、考えるヒントの宝庫に出会い、多様な価値観を持つ人々や文化に触れながら今まで気付かなかった自分のアイデンティティを見つけることもできるでしょう。これらを通して皆さんには自信がみなぎってくるのです。

話は変わりますが、皆さんは生まれ持つ遺伝的要素と母語、環境に影響されそれぞれの個性を作り上げます。人間社会では、類似性を有する人たちで集団を形成しますが、同質集団にいれば安心感が生じ、異質に対しては不安を覚えたり、又は好奇心を抱いたりするものです。

私は、画一性をリスクだと考えています。生態系の安定に生物の多様性が必要であるように、影響するように、人間集団も、様々な個性を持ち異なる価値観の人々が混在する方が、お互いに刺激しあい対話も豊かになり困難を乗り越えて生き延びることができるようになるのです。今、差別をなくそうと人権の 切り口で「LGBT 理解増進法」が国会で審議されているのは素晴らしいことですが、私は「差別をなくそう」ではなくてマイノリティを大切にリスペクトするべきと考え、多様性とたわむれる豊かな社会をつくることを期待しております。

私たちは誰しも、「いる場所」によってマジョリティにもマイノリティにもなりえます。

外国に行くとすぐに体験できますが、特に日本人の場合は、母語である日本語がほとんど通じません。

価値観は個人によって異なり、また属する集団ごとの特性も異なります。私は、「全ての人に共通する価値観があるのではないか」と仮説を立てています。これを検証しようにも、他者との関係やモノの見方も先入観無しで捉えることは大変難しく、毎日悩み考え続けています。何が正しく、何が嘘か、皆さんとともに悩み、解のない問いに挑んでいきたいと考えています。

ところで、日本の大学は「入学試験は難しいが卒業は簡単」と揶揄されることがあり、大学は長い人生の中で貴重な休息の時間という人もいますが、神田外語大学は、入学直後から語学を中心に必修授業が朝から夕方までぎっしりと詰まっていて、グループディスカッションやプレゼンテーションの準備に追われることも多く「休息の時間」と捉える人はほとんどいないと思います。そして、神田外語大学の学びの場は授業だけではありません。

自立学習施設 SALC、MULC、アカデミックサクセスセンターをできるだけ利用してください。サークル活動やスピーチコンテストへの挑戦など、課外活動の機会も沢山あります。ここで得られる学びの達成感、皆さんの学生生活を、そして人生を充実したものにしてくれるでしょう。

本学の建学の理念は「言葉は世界をつなぐ平和の礎」です。私はこの理念を、「対話を通じて他者と理解・共感し、違いを乗り越えようとするもの」と解釈しました。私はこの言葉がストンと腑におちビジネスマンから学長に転じました。今日から皆さんとこの言葉を共有します。皆さんはこの言葉をどのように考えますか。

最後に、建学の理念をご唱和ください。

あとに続いてください。

「言葉は、世界をつなぐ、平和の礎」

Critical Thinking 力を鍛え素敵な大学生活、大学院生活を送ってください。  
本日は誠におめでとうございます。

神田外語大学 学長 宮内孝久